

試料・情報利用研究計画書(概要)						
審査委員会 受付番号	2020-1034	利用 形態	共同研究	利用する 試料・情報	対象:コホート調査参加者 約10万人 試料:なし 情報:基本情報、調査票情報、検体検査情報、特定健康診査情報、ゲノム情報(全ゲノム、SNPアレイ) ※必要に応じて利用:MRI撮像データ、メタボローム情報、詳細健康調査情報、レセプト情報、服薬情報、疾患発症者の臨床情報	
主たる研究機関	東北メディカル・メガバンク機構			分担 研究機関	小野薬品工業株式会社	
研究題目	薬剤開発を志向したヒトゲノム情報と健康情報との統合解析			研究期間	2021年3月～2026年3月	
実施責任者	山本 雅之	所属	東北メディカル・メガバンク機構		職位	機構長
研究目的と意義	本研究では、いまだ有効な治療方法が確立されていない複雑なヒト疾患に対する治療薬を開発するために基礎となる情報を得るため、東北メディカル・メガバンク計画において収集されたヒトゲノム情報と個人に紐づいた健康情報を利用して、個人の遺伝子多型と健康情報との関連性をより深く理解するための統合解析を行います。					
研究計画概要	東北メディカル・メガバンク機構において収集されたゲノム情報と、個人に紐づいた一般健康調査情報・医療情報・オミックス解析情報などを統合して解析します。この解析データは、共同研究機関である小野薬品工業株式会社が、有効な医薬品の標的分子を見出したり、医薬品の副作用の起こりやすさを予測したり、医薬品の効果をみるために有用な検査項目を見つけたりするために有用な基礎的情報として活用されます。					
期待される成果	いまだ有効な治療方法が確立されていない複雑なヒト疾患に対する治療薬の開発が促進されることが期待されます。新しい治療薬が開発された場合、コホート調査参加者を含む日本人集団の健康に寄与します。					
これまでの倫理 審査等の経過	2021年3月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会					
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	ヒトを対象とする医学系研究の倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理指針の他、別途締結する研究契約を遵守して研究を遂行します。 高度なセキュリティーを担保したスーパーコンピュータを機構内に設置し、個人識別情報を管理しています。本研究において、共同研究者がアクセスする場合も、入退室を管理された遠隔セキュリティーームの端末から、あらかじめ者のみが解析を行います。					
その他特記事項	統合解析コンソーシアム運営等資金					
* 公開日	令和3年3月31日					